

研究成果の報告を ディスプレイ

7月3日、「シンポジウム 21世紀日本における学術の展望」(主催)社会科学研究所、今村法律研究室、法学研究所)が、神田キャンパスで開催された。研究者ら約50人が出席。研究成果の報告とディスプレイが行われた。写真。

今年4月、内閣府所属の特別

**社会科学研究所 今村法律
研究室 法学研究所が主催**



「21世紀日本における学術の展望」

『提言』に基づく初のシンポジウム開く

機関である日本学術会議が発表した「日本の展望—学術からの提言2010—」(以下、「提言」)に基づいて報告する初のシンポジウム。法学研究所の白藤博行所長が司会を務め、今村法律研究室の家永登室長が開会あいさつ。

続いて「提言」に携わった5氏が担当分野の内容を報告した。同会議の日本の展望委員会で副委員長を務める本学の広渡清吾法学部教授が概要を説明し、「持続可能な社会の構築を目指し、学術が果たす役割と実現へ向けての提言をまとめた。いち早く報告の機会を与えてくださった専修大の3研究室の協力を感謝し、今後もアピールしていきたい」と語った。

報告を受け、福島利夫経済学部教授、坂本武憲法学部長が自らの研究分野の視点からコメントを述べた。

広渡教授ら5氏がディスプレイ、会場との質疑が行われ、活発な意見が交わされた。最後に社会科学研究所の町田俊彦所長があいさつをし、閉会した。

第52回 育友会支部懇談会

52回目の「育友会支部懇談会」が7月から8月にかけて全国67支部(64会場)で開催される。(詳細は「支部懇談会ガイド2010」に掲載)。

菅沼堅吾会長が宮城(東京A・B・C合同)、神奈川(東西合同)、静岡(東部)の4会場に、日高義博理事長・学長が埼玉会場に出席するほか、教職員が各会場で学生生活、就職などについて個人・グループ面談を行い、ご父母の大学生活への理解の促進と不安の解消に努める。所属支部以外の地域での出席も可能。

育友会事務局 ☎03(32)62069

支部懇談会 開催日程・会場一覧

地区	支部	開催日	開始時間	開催会場
北海道	函館	7月31日(土)	10時	花びしホテル
	苫小牧	7月31日(土)	10時	グランドホテルニュー王子
	札幌	8月1日(日)	9時30分	ホテル札幌ガーデンパレス
	旭川	8月29日(日)	10時	ロワジールホテル旭川
	帯広	7月31日(土)	10時	ホテル日航ノースランド帯広
東 部	釧路	8月1日(日)	10時	釧路プリンスホテル
	網走	8月28日(土)	10時	網走セントラルホテル
	青森	8月29日(日)	10時	青森国際ホテル
	岩手	8月28日(土)	10時	ホテルシティプラザ北上
	宮城	8月29日(日)	10時	ホテルサンルート仙台
北 部	秋田	8月29日(日)	10時	秋田ビューホテル
	山形	8月28日(土)	10時	ホテルキャッスル
	福島	8月1日(日)	10時	ホテルハマツ
	中通り	8月1日(日)	10時	ホテルハマツ
	浜通り	7月31日(土)	10時	いわきワシントンホテル椿山荘
関 東	会津	7月31日(土)	10時	会津若松ワシントンホテル
	水戸	8月1日(日)	10時	三の丸ホテル
	茨城	8月22日(日)	10時	ホテルグランド東雲
	栃木	8月29日(日)	9時45分	ホテルニューイタヤ
	群馬	8月29日(日)	10時	ニューサンピア
東 部	埼玉	8月1日(日)	10時	パレスホテル大宮
	千葉東	8月28日(土)	10時	京葉銀行文化プラザ
	千葉西	8月1日(日)	10時	ザ・クレストホテル柏
	東京A・B・C	7月25日(日)	10時	専修大学神田キャンパス(合同)
	多摩	8月22日(日)	10時	立川グランドホテル
中 部	神奈川東	8月22日(日)	10時	専修大学生田キャンパス(合同)
	新潟	8月29日(日)	10時	新潟東映ホテル
	新潟長岡	8月28日(土)	10時	長岡グランドホテル
	富山	8月1日(日)	10時	富山第一ホテル
	石川	7月31日(土)	10時	ホテル金沢
近 畿	福井	7月31日(土)	10時	ユアーズホテルフクイ
	山梨	8月1日(日)	10時	甲府富士屋ホテル
	長野	8月1日(日)	10時	ホテル国際21
	岐阜	7月31日(土)	10時	松本ホテル花月
	岐阜早	8月28日(土)	10時	岐阜都ホテル
東 部	静岡	8月28日(土)	10時	静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ
	浜松	8月29日(日)	9時50分	ホテルクラウンパレス浜松(旧・浜松名鉄ホテル)
	東 部	8月21日(土)	9時30分	ホテル沼津キャッスル
	愛知名古屋	7月31日(土)	10時	キャッスルプラザ
	豊橋	8月29日(日)	10時	ホテル日航豊橋
中 国	三重	8月28日(土)	10時	フレックスホテル
	滋賀	8月29日(日)	10時	ホテルポストプラザ草津
	京都	8月1日(日)	10時	京都ホテルオークラ
	大阪	8月1日(日)	10時	ハートンホテル心斎橋(別館)
	兵庫	8月1日(日)	10時	ホテルキャッスルプラザ
四 国	奈良	7月31日(土)	10時	ホテル日航奈良
	和歌山	7月31日(土)	10時	コガノイペイホテル
	鳥取	8月28日(土)	10時	ホープスターとっとり
	島根	8月29日(日)	10時	ツインリープスホテル出雲
	岡山	7月31日(土)	10時	ラヴィール岡山
九 州	広島	8月28日(土)	10時	ホテルセンチュリー21広島
	山口	8月29日(日)	10時	山口グランドホテル
	徳島	8月1日(日)	10時	ホテルクレメント徳島
	香川	8月1日(日)	10時	琴平花壇
	愛媛	7月31日(土)	10時	にぎたつ会館
沖 縄	高知	8月8日(日)	10時	高知会館
	福岡博多	8月28日(土)	10時	博多都ホテル
	小倉	7月31日(土)	10時	ブルーウェーブイン小倉
	佐賀	8月1日(日)	10時	ホテルグランデはがくれ
	長崎	7月31日(土)	10時	長崎全日空ホテルグラバービル
沖 縄	熊本	8月29日(日)	10時	アークホテル熊本
	大分	8月1日(日)	10時	トキハ会館 6階 さくらの間
	宮崎	8月28日(土)	9時30分	宮崎観光ホテル
鹿児島	8月29日(日)	10時	ホテル・レクストン鹿児島	
沖縄	8月8日(日)	10時	沖縄都ホテル	

ラオス駐日大使が 経済改革について講演



▲講演するシートン大使。左は通訳のチップソンさん

ラオス人民民主共和国のシートン・チンニョーティン駐日大使を迎え、社会科学関係資本研究センター/国際経済学部の研究センターが7月2日、神田キャンパスで開催された。同センターの研究者はじめ経済学部国際経済学部の学生あわせて40人が参加した。

ラオス国立大学と国際交流協定を結んでいる専修大学は、ラオスと親密な交流がある。シートン大使は「専修大学で講

社会科学関係資本研究センター研究会

演でできるのはた いへんな名誉

と前置き、持続的な開発によって発展をめざすラオスの経済改革について講演。持続的な開発とは人による人のための開発であるとし、国民の教育の質を高めることや地域開発の必要性を説いた。

講演の後、学生たちが作ったラオスの仏塔タットルアンをデザインした「モザイクアート」の模型を同大使にプレゼントした。進行は飯沼健子経済学部准教授、通訳はチップソン・ルアンウィライ氏が担当した。

社会科学関係資本研究センターは研究プロジェクト「持続的発展に向けての社会科学関係資本の多様な構築・東アジアのコミュニティ、セキュリティ、市民文化の観点から」を展開している。8月下旬から約1カ月の間に、ラオスとベトナムで現地調査を行う。

人間科学部シンポ「生き づらさのゆくえ」で議論



内容は11月発行予定の『SI Libretto』に掲載

昨年11月に人間科学部開設・文学部改組記念として開催されたシンポジウム「生きづらさのゆくえ」(SI Libretto)の内容とあわせ、11月発行予定の書籍(新書)『SI Libretto』の教員を交えてのパネルディスカッションを行った。しかし質疑の時間が十分ではなく、肝心の若者の視点を取り込むことができなかった。それを書籍に反映するために座談会を計画した」と語る。

座談会では香山、上野両氏の議論を発展的に検討しながら、「私たちの社会が選んだ『自由』の代償のひとつが『生きづらさ』なので471号既刊に掲載される。

参加したのは、矢崎慶太郎さん(文学研究科博士課程2)、福田洋佑さん(文4)、沼澤善将さん(文3)、三砂昭太さん(経済学)、生田キャンパスで

(同)の5人。進行役の嶋根教授は「シンポジウムでは精神科医の香山リカ氏、社会学者の上野千鶴子氏といった当代一流の論客による講演に加えて、本学教員を交えてのパネルディスカッションを行った。しかし質疑の時間が十分ではなく、肝心の若者の視点を取り込むことができなかった。それを書籍に反映するために座談会を計画した」と語る。

座談会では香山、上野両氏の議論を発展的に検討しながら、「私たちの社会が選んだ『自由』の代償のひとつが『生きづらさ』なので471号既刊に掲載される。

参加したのは、矢崎慶太郎さん(文学研究科博士課程2)、福田洋佑さん(文4)、沼澤善将さん(文3)、三砂昭太さん(経済学)、生田キャンパスで



育友122号刊行
南アフリカ社会とサッカー
研究会
16時30分~18時 講師 飯田義明経済学部教授 場所 田舎ライオンキャンパス
Mail: sports@isc.senshu-u.ac.jp

「社会科学関係資本研究第2回研究会」
山内 祐平編著
望月 俊男ほか著
大学は、問題解決能力をもちた自律的な人材を社会から求められているが、学力の多様化やインターネットの普及による情報化など、取り巻く環境は大きく変わってきている。
本書は、社会が求める人材像の変化に大学が対応していくために、新しい教育モデルの方向性を示し、その

「ワールドカップから見えるもの」
▽日時 7月23日(金) 16時30分~18時 講師 飯田義明経済学部教授 場所 田舎ライオンキャンパス
Mail: sports@isc.senshu-u.ac.jp



学びの空間が大学を変える
山内 祐平編著
望月 俊男ほか著
大学は、問題解決能力をもちた自律的な人材を社会から求められているが、学力の多様化やインターネットの普及による情報化など、取り巻く環境は大きく変わってきている。
本書は、社会が求める人材像の変化に大学が対応していくために、新しい教育モデルの方向性を示し、その

専修人の新刊
渡来原郷
白山巫女秦氏の謎を追って
川上 隆志ほか著
古代日本列島に多大な影響を与え、現在も息づく朝鮮文化の中で、それぞれ謎多き白山信仰、芸能の源である巫女(ムダン)、最大の渡来の民・秦氏を追って2009年、著者はフィールドワークを行った。これまでの研究をもとに朝鮮文化に肌で触れた視点から新たに追究した成果。

秦氏については、岩波書店の編集者として、単行本や新書を数多く手がけ「へるめす」の編集長などを歴任した川上隆志文学部教授。巫女については日本と韓国の芸能、祭事のドキュメンタリー映画を数多く撮影し、両国の文化に造詣が深い、前田憲二氏、白山信仰については、「新潮」前編集長の前田速夫氏が担当。それぞれの視点でつづられた個性豊かな本書は、「日韓併合100年」の今年、一石を投ずるであろう。(現代書館・本体2200円+税)

共著者(かわかみ・たかし) 文学部教授。主な担当は日本文化研究など。

実現の一つの方法として学習空間の再設計を提案している。海外の大学や国内の先進的な事例から「ラーニングスタジオ」「ラーニングコモンズ」「コミュニケーションスペース」の効果を検証し、今後の大学像を描いている。個々の大学で、どのような学習環境が必要なのか、ビジョンを明らかにしていくことが大学の個性化につながると思っている。(ポイックス・本体1866円+税)

共著者(もちつき・としお) ネットワーク情報学部講師。「能動的な学びを促進するスタジオリ教室」を執筆。主な担当は情報科教育論など。